

授業科目 在宅看護学実習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	看護	
杉本 洋、宇田 優子、小山 歌子、 稲垣 千文、小林 房代、和田 直子		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	90	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
○	◎	○	◎	◎		
【概要・一般目標：G10】 在宅の場における看護活動の実際を学び、在宅看護に必要な知識・技術を修得する。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅の場における看護の役割を説明・考察できる。 2. 在宅の場における療養者や療養環境の理解を深め、包括的な視点から看護計画を立案できる。 3. 多様な機関および職種、サービス提供体制等、在宅療養を支えるシステムについて説明できる。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	<p>訪問看護ステーションや訪問看護部の組織・機能・活動を調べる。</p> <p>実習施設における看護師がどのような役割を果たしているかを、実習施設でのオリエンテーションや訪問等を通して学ぶ。</p> <p>受け持ち利用者の看護展開、受け持ち以外の同行訪問、その他在宅療養者が利用するサービス（通所サービス）等の実習を行い、在宅の場における療養者や療養環境の理解を深める。</p> <p>受け持ち事例を設定し、包括的な視点を意識した看護計画を立案する。</p> <p>看護職が他の保健、医療、福祉職等どのように連携しているかを、多職種間で行われるカンファレンスや、訪問等において連携がうかがえる状況を通して学ぶ。</p> <p>関係者との連携の機会、または訪問看護以外の利用サービスにかかわる機会があれば可能な限り参加し、在宅療養を支えるシステムについての理解を深める。</p>				1 1 2 2 3 3	担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 実習の取り組み状況 40%程度 実習記録等 60%程度			【履修上の留意点】			